

食料品・ 水産部会の 報告

西日本最大級の 食材見本市を視察

2月21日に食料品・水産部会が、ATCアジア太平洋トレードセンター（大阪市）で開催中の、国産農産物を集めた「アグリフードEXPO大阪2018」と西日本最大級の食材見本市として知られる「シーフードショー大阪」を視察しました。

視察した見本市は、規模も大きく内容も充実しており、部会として今後の事業展開等に不可欠な情報や動向を知ることが出来ることから、3年続けての視察先となっています。

今回は料理・飲食部会からの希望者を含め11人が参加しました。参加した部会員は、750を超える業者が展示する全国的なブランド農水産物や、様々に加工した商品類が並んだ広大な会場を丹念に調査。時には、出展者との具体的な交渉を行うなど、多様な角度から事業拡大の具

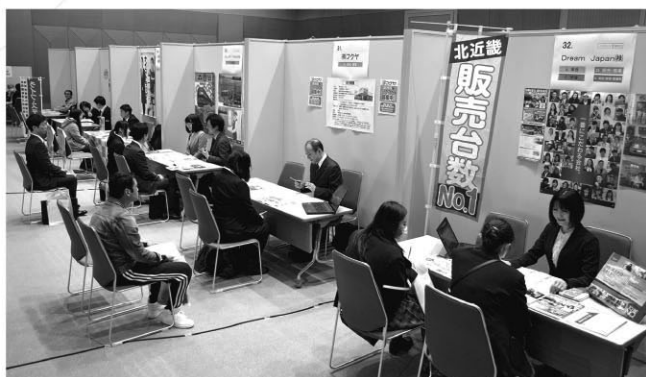
体化に向け、それぞれが取り組みました。

食料品・水産部会では、今回の視察などを通して、引き続き“稼ぐ”ことを実感できる事業の推進に務めることにしています。



混雑する「アグリフードEXPO大阪2018」の会場（2月21日）

“春の就職フェア”は102人が来場されました 市内の48社が参加



2月24日に開催した“就職フェア”

昨年の8月と10月の就職フェアに続き、2月24日に舞鶴市商工観光センターで「春のまいづる就職フェア」を開催しました。

今回の参加事業所は、製造業や福祉・医療、商業関係など48の企業・団体。一方、会場を訪れた求職者は102人でした。この時期は、新年度を間近に控えていることから、参加された事業所側も就職を希望する人も、より真剣で差し迫った緊張感が会場内にはありました。